

2022年3月期第1四半期決算
テレフォン・カンファレンスにおける主な質疑応答
2021年8月5日、東京

Q1：第1四半期における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う売上への影響額を教えてください。国内、海外ともに、生体情報モニタが大幅増収となった要因は何か。

A1：国内では生体情報モニタを中心に15億円程度、海外では生体情報モニタ、除細動器、人工呼吸器で20億円程度、新型コロナ関連の需要があったと見ている。生体情報モニタについては、国内では、感染症患者受入れ対応による需要の増加だけでなく、前年同期が減収だった反動、検査・手術件数の回復に伴うセンサ類など消耗品の増加、ITシステム商談の再開も売上に寄与した。海外では、感染が再拡大したインド、中南米等での需要増加もあったが、米国における大口商談が売上に貢献した。

Q2：国内では、政府予算を背景に、感染症患者受入れのための生体情報モニタ等の需要があるが、既存設備の更新が前倒しされているのか。感染拡大が収束しない場合は、今後も需要が継続すると見ているか。来期に需要が大きく減少することはないか。市場シェアに変化はあるか。

A2：今期も官公立病院、私立病院市場において、政府予算を背景とした生体情報モニタ等の整備が進んでいる。既存設備の更新の前倒しよりも、コロナ対策のための新規設置が多かったと見ている。9月末まではこの動きが継続するが、下期以降は落ち着くと見ている。但し、変異株の感染拡大もあり、コロナ対応の需要が続く可能性はある。また、生体情報モニタ等の設置ベース拡大に伴い、消耗品・サービス事業は拡大傾向にある。需要増加の反動は不透明な部分もあるが、来期の大きな需要減少はないと考えている。市場シェアも大きな変化はないと見ている。

Q3：米州が二桁成長となった要因を教えてください。第2四半期以降も、米国における生体情報モニタの大口商談の売上を予定しているか。

A3：米州では、米国で複数のIDNにおける生体情報モニタの大口商談の売上寄与が20億円程度あった。第2四半期以降も、大口商談の一部の出荷は継続する見通しである。また、中位機種ベッドサイドモニタ CSM-1500/1700のFDA承認を7月に取得し、下期に発売予定である。新たなラインアップの追加により競争力が高まり、市場シェア拡大につながると期待している。

Q4：欧州では、前年同期に新型コロナ関連の需要が急増した反動があったにもかかわらず、円ベースで増収となった要因は何か。

A4：欧州では、前年同期に大幅増収となった生体情報モニタと人工呼吸器の反動はあるものの、脳波計、心電計、除細動器、AED、血球計数器が好調に推移した。特にAEDは、低調だった前年同期から需要が大きく回復した。

Q5：上期および通期の業績見通しを修正したことにより、下期の業績見通しが期初の想定を下回るようになるが、その背景を教えてください。

A5：上期および通期の業績見通しについては、第1四半期の実績および最近の業績動向を踏まえ、修正した。為替が当初の想定よりも円安に推移していることも反映した。販管費については、売上が当初の想定を上回る見通しであることから変動費が増加するほか、欧州子会社に対するサイバー攻撃に伴いセキュリティ対策等の費用が増加する見込みである。通期の業績見通しについては、感染再拡大や部品供給のひっ迫などの不確定要素も多く、現時点で見込むことができる売上および販管費を織り込んでいる。下期の見通しについては、上期の状況を踏まえて必要であれば精査し、改めて提示したい。

Q6：部品供給のひっ迫状況について、詳細を教えてください。

A6：世界的に半導体等の電子部品の供給不足が続いており、当社製品の部品供給もひっ迫している。今後さらに状況が悪化した場合は、製品供給に影響が出る可能性がある。部品が1つでも欠品すると生産に影響するため、どの製品においてもリスクはあり注視している。

Q7：2022年4月に予定されている診療報酬改定の方向性をどう見ているか。2025年における地域医療構想の実現に向けて、7対1入院基本料の施設基準の見直しなどにより、医療の機能分化が進むと考えられるが、当社事業への影響を教えてください。

A7：コロナ禍における診療報酬の特例措置は、医療機関の経営の下支えになっていると見ている。次回の診療報酬改定については、本格的な議論が始まったばかりであり方向性はわからないが、コロナ禍で医療提供体制の重要性は再認識されている。高度急性期病床の強化やかかりつけ医を中心とした地域医療の充実に向けて、次回の診療報酬改定の内容が検討されると見ている。当社は、急性期病院市場に強いため、集中治療など急性期医療の強化が推進されれば、当社のソリューションに対する需要はより一層高まると考えている。

以上

<ご留意事項>

※本資料は、投資家の皆様へのご参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。